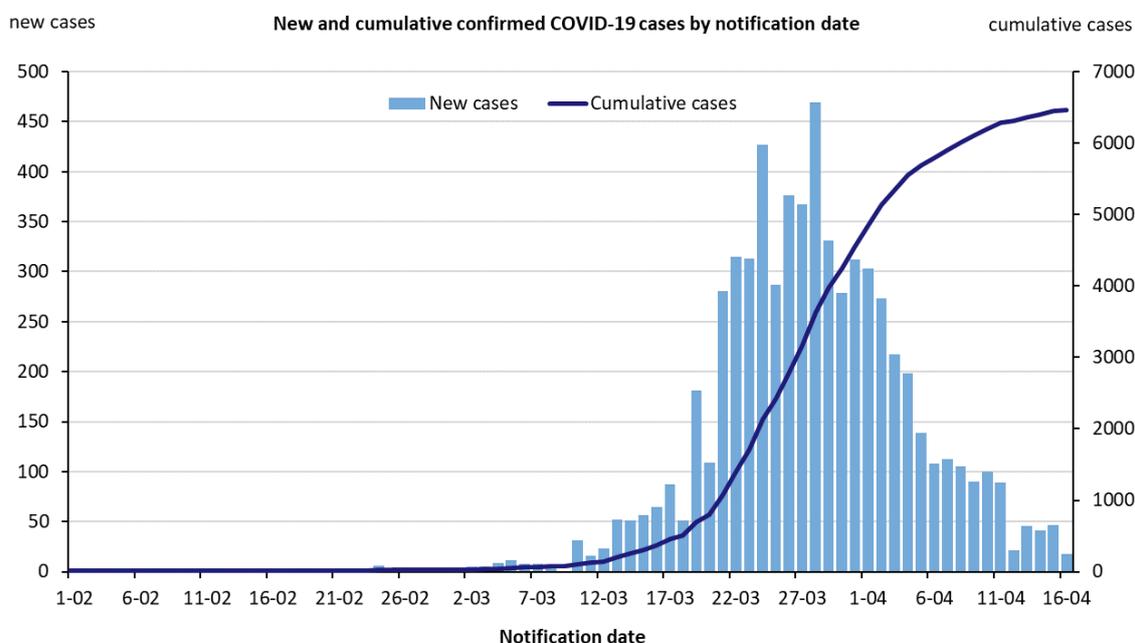


## 在シドニー総領事通信

### 第13回 オーストラリアの新型コロナウイルスへの対応（その3）： 「戦略的コミュニケーション」

令和2年（2020年）4月17日

オーストラリアでは、新型コロナウイルスの新規感染者数が大幅に減少しています。水際対策の徹底、感染者の早期発見・濃厚接触者の追跡調査と隔離（contact tracing）、集会・営業の規制、社会的距離の確保などの諸措置の迅速な実施は、目に見える効果を上げています。



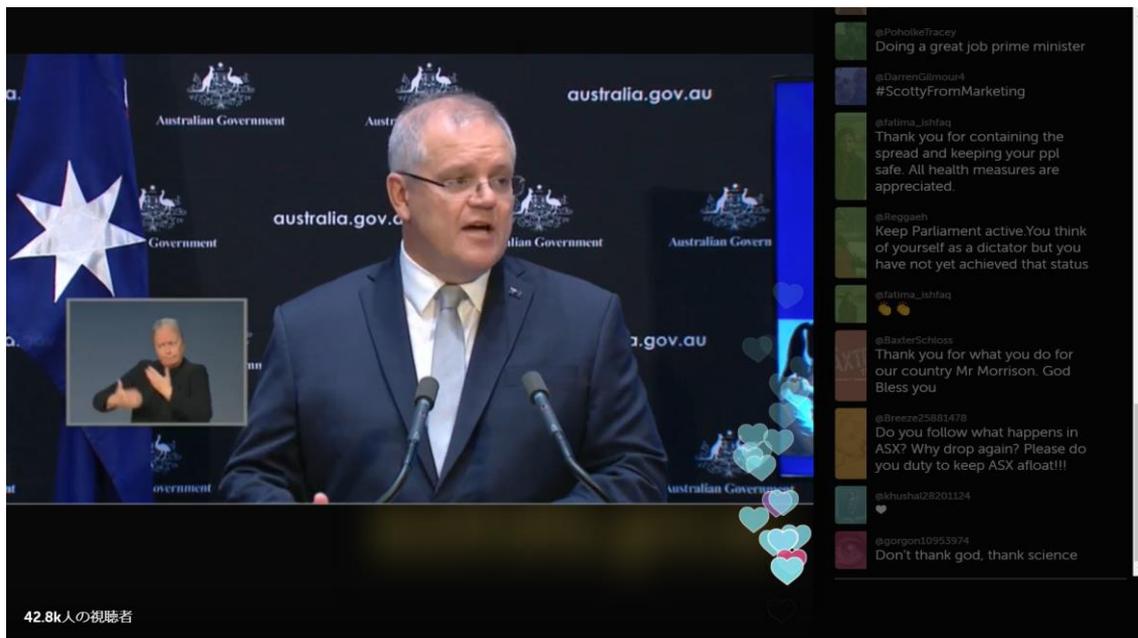
#### オーストラリアの新型コロナウイルス新規・累積感染者数 (4月16日、オーストラリア保健省)

当地でこの新型コロナウイルス対策を日々フォローし、参画・実践する中で特に強い印象を受けたのは、諸措置を戦略的に展開しているばかりでなく（この点は前回の総領事通信でご紹介しました）、政府がその内容を国民や居住者にわかりやすく説明することで、各人による主体的な遵守を促し、実現していることです。

日本の有識者のインタビューで、新型コロナウイルスのような危機管理に際しては、国民や住民の協力を確保するために、政府の司令塔が自らの戦略をきちんと

と理解し、それを分かりやすく発信・伝達する手段が極めて重要との指摘を読みました。「戦略的コミュニケーション」という概念があり、これは戦略的目標を達成するために狙った相手の考えや行動を変えさせることだそうです。

今回の総領事通信では、オーストラリアがこの「戦略的コミュニケーション」をどのように実践しているのか、私なりに観察したことをご紹介したいと思えます。在留邦人の皆様や、日本をはじめ世界で新型コロナウイルス対策に取り組んでいる皆様のご参考になれば幸いです。



国家内閣会合後のモリソン首相記者会見（4月7日、モリソン首相 Twitter）

連邦レベルでは、週2回以上開催される国家内閣会合の直後や重要政策の発表に際して、モリソン首相自らが記者会見を行っています。多くの場合、関係閣僚や首席医務官などの専門家が同席し、首相に続いて細目の説明を行います。政策・戦略自体は前回の総領事通信でお伝えしたとおりですが、その発信方法も効果的です。

モリソン首相は時々の発表事項のみならず、記者会見の冒頭で、最新の状況や課題を簡潔に説明し、国民の協力に対する感謝を述べた上で、「6か月かそれ以上が必要」「抑圧期 (suppression phase) と並行して回復期 (recovery phase) の方針検討も始めた」といった今後の見通しの説明や、「イースター休暇は旅行しないように」など国民に対する協力要請を、率直かつ明確に行っています。記者からの質問にも、毎回相当時間を取って丁寧に応答しています。記者会見は全てラ

イブで動画配信され、数時間後には質疑応答も含めて全文がウェブサイトに毎回掲載されます。



ベレジクリアン NSW 州首相の記者会見，警察庁長官や首席保健官も同席  
(4月16日，NSW 州保健省 Facebook)

人口約 800 万人でシドニーを擁する NSW 州では、平日は毎朝 8 時からベレジクリアン首相が、週末も正午に同首相または保健大臣が記者会見を屋外で行っています。首相からその時々<sup>々</sup>の主要なメッセージの伝達や新政策の発表を行った後、感染状況、諸規制の遵守状況や新政策の詳細説明を、首席保健官、警察庁長官、担当大臣から行います。個別分野の質問に対しては、同席している州政府閣僚や高官が回答します。この毎朝の記者会見で、州民やメディアの全ての関心事について説明が行われ、いわばクリアリングハウスのような機能を果たしています。

ベレジクリアン首相が毎朝、一切メモも見ずに冒頭発言を行う姿は本当に迫力があります。一般の州民や幅広い関係者の協力に対する感謝のことばを欠かすことはありません。首相自身のことばで、州政府の立場を国民に直接語りかけます。例えば昨日（16日）は、検査数の大幅増を実現できたことについて州民の協力を謝意を述べ、コミュニティ感染が多い地域で更に積極的に検査を受けるよう呼びかけました。それとともに、州の経済活動を継続して雇用を確保することが重要であり、州政府として新たな地方インフラ投資事業を展開することを発表しました。収入も仕事の当てもなく子供を学校に行かせなければならない家族

のために、雇用を創出して未来への希望を与えたい、と心を込めて説明していました。

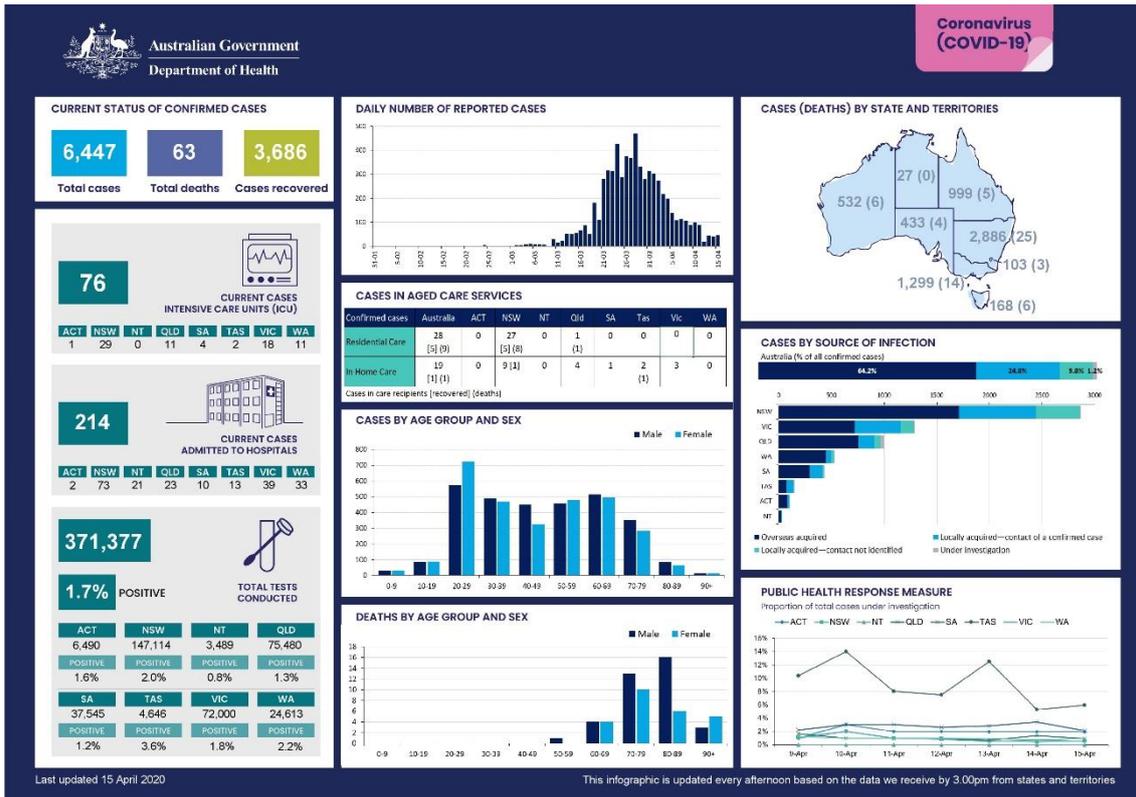
記者会見では、記者から厳しい質問も出されます。特に、豪政府によるクルーズ船拒否の発表直後に、シドニー港でルビープリンセス号乗客の下船を許して感染者や死亡者を多数出した事件については、連日、州政府の対応振りが批判されました。それに対し、今は悪者探しをする時ではない、自分の使命は州民の生命と安全に全力を注ぐことであるなど、ひるむことなく応答し、その後特別調査委員会を立ち上げる旨を発表し、責任の追及を正面から受けとめる政府の力強さを感じました。



ガナーNT 首席大臣の記者会見（4月16日、首席大臣 Facebook）

北部準州（NT）は人口が約25万人ですが、領域が広大で、原住民族のコミュニティが遠隔地にあるなど独自の課題を抱えています。そのため、他州からの来訪者を14日間強制隔離し、その経費（1人約2,500豪ドル、1家族約5,000豪ドル）を本人負担させるなど厳しい規制を行っています。

ガナー首席大臣は、このような規制の導入や経済政策の発表などの重要な機会に記者会見を行ってわかりやすく説明し、理解を求めています。NTでは最近10日間の新規症例はなく、これまでコミュニティ感染も発生していませんが、準州民（Territorian）の命を守るために、厳しい規制を遵守する必要性を強調しています。NTの場合、保健大臣が連日記者会見を行い、ライブで動画配信されています。



## 新型コロナウイルス HP の主要統計一覧「ダッシュボード」 (4月15日, オーストラリア政府新型コロナウイルス HP)

オーストラリアの戦略的コミュニケーションのもう一つの特徴は、ICT の活用です。連邦政府, NSW 州, 北部準州とも、それぞれ新型コロナウイルス特設ウェブサイトを立ち上げ、全ての情報がわかりやすく整理されています。内容も日々進化し、連邦政府のサイトには、主要統計一覧をまとめた「ダッシュボード」も掲載されました。また、連邦政府のウェブサイトは [www.australia.gov.au](http://www.australia.gov.au) と、100年に1度の事件を象徴するような名称の URL になっています。このような形で、透明性を確保しつつ、幅広い国民やメディアに情報を発信しています。

保健面の広報・啓発は、連邦政府保健省が3月中旬に新型コロナウイルス・キャンペーンを開始し、ポスターから各種ソーシャルメディアまで様々なツールを活用し、共通のロゴやデザインのもと一貫した整合性のあるメッセージを発信しています。各州・地域ではこれを大いに活用して、効率的・効果的な広報を行っています。

更に、連邦政府は、iPhone や Android 用のアプリを立ち上げた他、WhatsApp のチャンネルも作っています。NSW 州は、主に運転免許用の Service NSW のアプリに新型コロナウイルスの情報を盛り込み、そのダウンロードを勧めています。

なお、前述した首相級の記者会見は、モリソン首相は SBS News の Twitter、ベレジクリアン NSW 州首相は NSW 保健省の Facebook、ガナー北部準州首席大臣は ABC Darwin の Facebook で、それぞれライブ動画配信されています。



The screenshot shows the top navigation bar of the Australian Government Department of Home Affairs website. It includes a menu icon, the department's name, and a search icon. Below the navigation bar, the main heading is "COVID-19 - Japanese". A language selection dropdown menu is set to "Japanese | 日本語". Below the menu, there are links for "教育" (Education), "雇用" (Employment), and "オーストラリアのコミュニティのための情報" (Information for the Australian community). At the bottom right, there are buttons for "Digital Assistant" and "Feedback".

### 新型コロナウイルス情報・日本語資料ページ（オーストラリア内務省）

多文化主義 (multiculturalism) を掲げるオーストラリアにふさわしく、多言語での発信も進んでいます。連邦政府の新型コロナウイルス特設ウェブサイトの最上部から、日本語を含む幅広い言語の新型コロナウイルス関連資料（多文化主義を所掌する内務省が作成）にリンクが貼られています。また、多文化主義を支える豪公共放送 SBS も、日本語を含む 64 言語による新型コロナウイルス情報をウェブサイトで発信しています。



シドニー市内ポークルーズのパン屋での社会的距離の遵守（4月13日）

以上のおり、オーストラリア政府は「戦略的コミュニケーション」の面でも様々な工夫を行っています。その結果、オーストラリアの人たちは、自ら気持ちを納得させて、日々の生活の中で社会的距離の確保をはじめとする諸規制を遵守しています。

日本を含めて他国は文化的背景が異なるので、そのまま学べる点は必ずしも多くないかもしれませんが、国民や住民の協力を確保する「戦略的コミュニケーション」は共通の課題ではないかと感じています。私自身、日々の仕事を通じて、オーストラリア政府のメッセージが在留邦人にしっかりと伝わるよう努力するとともに、オーストラリア政府の良い取組が日本を含めて他国に生かされるよう、機会を捉えて発信していきたいと思えます。

豪新型コロナウイルス特設ウェブサイト（英語）

<https://www.australia.gov.au/>

豪首相ウェブサイト（記者会見議事録，報道発表を掲載）（英語）

<https://www.pm.gov.au/media>

NSW 州新型コロナウイルス特設ウェブサイト（英語）

<https://preview.nsw.gov.au/covid-19>

北部準州新型コロナウイルス特設ウェブサイト（英語）

<https://coronavirus.nt.gov.au/>

豪保健省・新型コロナウイルス・キャンペーン（英語）

<https://www.health.gov.au/news/launch-of-the-coronavirus-covid-19-campaign>

豪政府・新型コロナウイルス・アプリ（英語）

<https://www.health.gov.au/resources/apps-and-tools/coronavirus-australia-app>

NSW 州・サービス NSW アプリ（英語）

<https://www.service.nsw.gov.au/campaign/service-nsw-mobile-app>

豪内務省・新型コロナウイルス日本語ウェブサイト

<https://www.homeaffairs.gov.au/covid-19/Pages/covid-19-Japanese.aspx?lang=Japanese>

SBS・新型コロナウイルス日本語ウェブサイト

<https://www.sbs.com.au/language/japanese/coronavirus-updates>

時事ドットコムニュース【地球コラム】戦争以上の衝撃、時間稼げば克服可能—  
新型コロナ（渡部恒雄 笹川平和財団上席研究員）（2020年4月5日）

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2020040300654&g=int>

47NEWS「日本だけは大丈夫」の思い込みは致命的—具体的メッセージこそ国民の  
行動変容に（西澤真理子 リスク管理・コミュニケーションコンサルタント）  
（2020年4月15日）

<https://this.kiji.is/622427162876101729>

佐藤玖美『コミュニケーションリーダーシップ 考える技術 伝える技術』（日  
本経済新聞出版社，2012年）

西澤真理子 『「やばいこと」を伝える技術－修羅場を乗り越え相手を動かすリスクコミュニケーション』 (PHP 研究所, 2017 年)

Jesper Falkheimer and Mats Heide, *Strategic Communication - An Introduction* (Routledge, 2018)

Diane Lennard, *Strategic Communication at Work: The Impact Paradigm* (Routledge, 2018)

(以上)